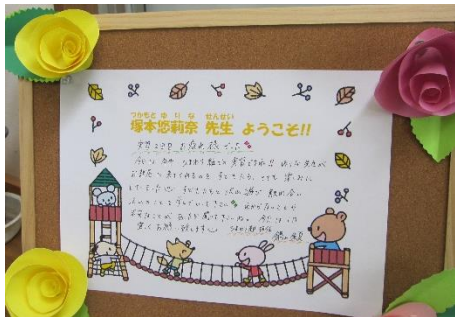


子どもたちも大喜び！本日から1週間、教育実習生が本園に！



11月11日(月)～15日(金)までの1週間、足利短期大学1年生で本園の卒園生でもある塚本悠莉菜さんが教育実習にきています。目的は、「子どもと触れ合う」「幼稚園を知る」「保育者と子どもの関わりを知る」ことです。

塚本さんは、大学卒業後は幼稚園教諭を希望しています。なぜ、幼稚園教諭を目指すようになったのかというと、「担任だった幼稚園の先生が、泣き虫だった私に対し、本当に優しく親身になって接してくださり、私も将来その先生のように子ども達から慕われ、そして信頼される先生になりたいと思うようになったから。」だそうです。

本園を選んだ理由を尋ねると、「自分が育った所でもあり、大好きな先生のいた幼稚園だから」だそうです。

中学校時代はバドミントン部に、高校時代はダンス部に所属して活躍した塚本さん。動くことが大好きなので、将来は毎日子ども達と「鬼ごっこ」などをしている姿が目につきました。

「ピアノは得意？」と聞くと、「小さい時に習っていなかったのが苦手だったが、夢を実現するため毎日放課後学校に残って練習をしている。以前よりいろいろな曲が弾けるようになり少しずつ自信がついてきた。」ということです。

実際に実習で子どもたちと触れ合って大変だと思うところは、「自分のクラスの子供達だけでなく、性格などを把握していない他の学年・クラスの子とも一緒に活動したり教えたりしなければならないところ。忙しいと感じた。また、年齢の違い(年少、年中、年長)によって接し方や活動の仕方などを変えなければならないところ」、また「子ども

達同士のトラブルをうまく処理することができるかどうか不安なところ」だそうです。

実習をしてみて、「子ども達と接していると本当に楽しく、毎日が充実している。ちょっとしたことで子ども達の成長が感じられる、喜びが共有できるやりがいのある仕事だと感じた。まだ、ピアノがうまくできないので練習して夢を叶えたい。」という感想をもったということです。

【写真】(一番上)本園では未来の「幼稚園教諭」が気持ちよく実習できるよう、全職員で応援しています。(2段目)自園

給食を年少さんと一緒にお部屋で。(3段目)手遊び歌と紙芝居を子どもの前で。表情や声色なども工夫して！(4段目左)楽しく追いかっこ。(右)園児と一緒に朝の体操を！(一番下)帰る時には笑顔で「ハイタッチ！」

